

府中市議会 第25回議会改革特別委員会会議録

令和元年11月18日午前10時3分、議会改革特別委員会を第二委員会室において開会した。

1 出席委員

委員	長	三藤毅	副委員	長	本谷宏行
委員		加納孝彦	委員		安友正章
委員		土井基司	委員		加島広宣
委員		岡田隆行			
副議長		大本千香子			

1 欠席委員

なし

1 説明のため出席した者

なし

1 事務局及び書記

事務局長 赤利充彦 議事係長 小林正樹

1 本日の会議に付した事件

- (1) 議会報告会における議論のまとめについて
- (2) その他

~~~~~

午前10時3分 開会

1 議会報告会における議論のまとめについて

- (1) 議会報告会での市民の意見について、各委員が聞き取った内容は次のとおり。

ア 定数について

- ・必ずしも現状が多いという印象はなかった。
- ・なぜ減らすのかという意見があった。
- ・19名という数字は理解していただいたと思う。
- ・もっと減らせという意見があった。
- ・多い少ないという前に、議員の活動が見えない。
- ・1名減は中途半端、それなら現状維持でもいいのでは。
- ・減らすのがいいのではなく、市民の代表である議員の数は必要である。

イ 報酬について

- ・必ずしも現状が多いという印象はなかった。
- ・多い少ないという前に、議員の活動が見えない。
- ・府中市全体を見て、人口、面積などにより決定されているのならそれでいいので

はないか。

ウ 政務活動費について

- ・他市で問題になっていることが府中市にもあるのではないかとすることで不信感を持たれていた。
- ・第三者のチェックを取り入れてはどうかという意見があった。
- ・増額するという事だか、活動が見えない、透明性の確保が必要。
- ・議員活動すればするほどお金がかかると言われるが、活動が見えてこない。

以上のことから、議員定数、報酬、政務活動費について、議会改革特別委員会の考え方については、変更しないこととした。

(2) 議会改革特別委員会の報告書に記載する内容について

議会報告会での質問及び回答については、回答は記載せず、市民からの意見として質問事項から何項目か抽出して趣旨が伝わる表現で記載することとした。

ア 議員定数について

- ・委員会所属を兼任すればもっと削減できるのでは。
- ・定数は現状維持ではなぜいけないのか。

イ 議員報酬について

- ・議員報酬の算定基準はあるのか。
- ・月40万円の報酬は少ない額ではないと思うがどうか。

ウ 政務活動費について

- ・政務活動費を増額して何ができるのか。
- ・府中市の現状で倍増とはいかがなものか。
- ・第三者のチェックは受けないのか。
- ・1万円で十分な活動ができるのか。

エ 議会改革に係るその他のご意見、ご指摘等

- ・議員活動のシステム化、見える化はできないか。
- ・研修会に参加して、勉強されているとのことであるが、政策提言機能が見えづらい。また、成果が見えない。

(3) 報告書に添付する資料について

報告書の最後に資料として、添付する資料は次のとおり協議した。

- ・第2回改革特別委員会の各種資料
- ・定数の変遷、報酬、政務活動費、人口推移。
- ・シンポジウムの会場アンケート結果
- ・市民アンケート結果

- ・ 議会報告会での会場アンケート結果

以上の資料に加え、必要と思われる資料を、次回までに各委員から提示することとした。

## 2 その他

事前に報告案の修正版と添付資料の候補もタブレットに格納することとし、各委員で確認することとした。

次回は、12月18日（水）午後1時から開催することで決定した。

午後0時40分 散会

府中市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに押印する。

令和元年11月18日

府中市議会改革特別委員会  
委員長 三 藤 毅